

2016年11月11日

報道関係各位

## 11月14日は世界糖尿病デー

### ブルーライトアップイベント 日本全国179ヶ所で開催

世界糖尿病デー実行委員会（一般社団法人日本糖尿病学会・公益社団法人日本糖尿病協会）は、日本糖尿病対策推進会議と連携して、世界糖尿病デーの11月14日に国内の著名な建造物をブルーにライトアップし、糖尿病の正しい知識を啓発するイベントを実施します。

2006年12月、国連総会において「糖尿病に関する決議」（UNR61/225）が採択され、同時に、糖尿病治療に必要なインスリンを発見したバンティング博士（カナダ）の誕生日である11月14日が「世界糖尿病デー」として公式に認定されました。

「Unite for Diabetes～糖尿病に対して団結しよう」をスローガンに、国連決議採択に向けてイニシアチブをとったIDF（国際糖尿病連合）は、世界糖尿病デーを周知するため、全世界の著名なモニュメントをシンボルカラーであるブルーにライトアップする活動を2007年から展開しています。今年も、世界80カ国以上、1,000カ所以上のライトアップが行われます。

「世界糖尿病デー2016」のテーマは、「Eyes on Diabetes」。世界の糖尿病有病者の約半数が未受診の状況を改善し、重篤な合併症発症リスクを軽減するため、2型糖尿病の早期発見と診断を目指すスクリーニングの重要性を啓発しています。

IDFの会員である日本糖尿病学会と日本糖尿病協会もこの活動を日本で広げるべく、毎年この時期に、糖尿病の啓発行事を集中的に実施してきました。

ブルーライトアップ10年目となる今年は、全都道府県で179か所の有名建造物が青い光に包まれます。また、今年ブルーライトアップのシンボルの役割を果たすのは、翌年の第60回日本糖尿病学会年次学術集会（2016年5月18-20日／名古屋国際会議場）の開催地である愛知県名古屋市の名古屋城となっています。

さらに、ブルーライトアップイベントだけでなく、11月14日から始まる「全国糖尿病週間」（共催：日本糖尿病学会・日本糖尿病協会）の1週間を通して、各地で無料の血糖測定や健康相談、ウォーキングや講演会なども同時開催して、糖尿病患者さんや予備群、一般市民に向けて糖尿病の正しい知識を提供します。

## ■世界糖尿病デー関連データ■

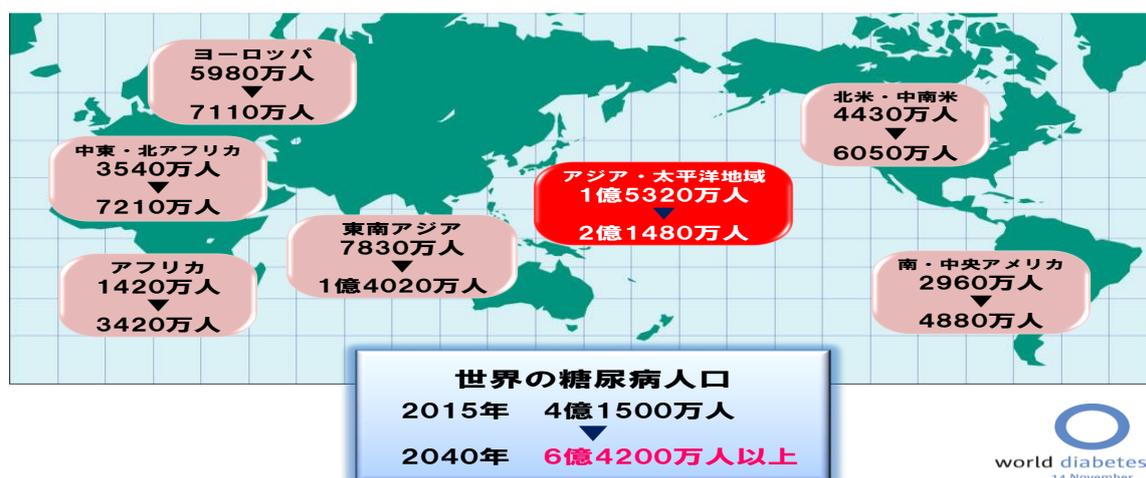
(出典:IDF Diabetes Atlas 7th Edition 2015)

| 糖尿病のデータ(20-79歳)          | 2015年            | 2040年           |
|--------------------------|------------------|-----------------|
| 世界の有病率                   | 8.8%             | 10.4%           |
| 糖尿病患者数                   | 4億1500万人         | 6億4200万人        |
| 糖尿病での死亡数                 | 500万人            |                 |
| <b>耐糖能異常(予備群)</b>        |                  |                 |
| 人口比                      | 6.7%             | 7.8%            |
| 人数                       | 3億1800万人         | 4億8100万人        |
| <b>妊娠時の高血糖状態(20-49歳)</b> |                  |                 |
| 割合                       | 16.2%            |                 |
| 影響を受ける出生数                | 2090万人(新生児7人に1人) |                 |
| <b>小児1型糖尿病(0-14歳)</b>    |                  |                 |
| 1型糖尿病患者数                 | 542,000人         |                 |
| 毎年新たに診断される患者数            | 86,000人          |                 |
| <b>糖尿病関連の医療費(20-79歳)</b> | 6730億USD/ 約70兆円  | 8020億USD/ 約84兆円 |

### <成人(20-79歳)糖尿病患者数 上位10カ国>

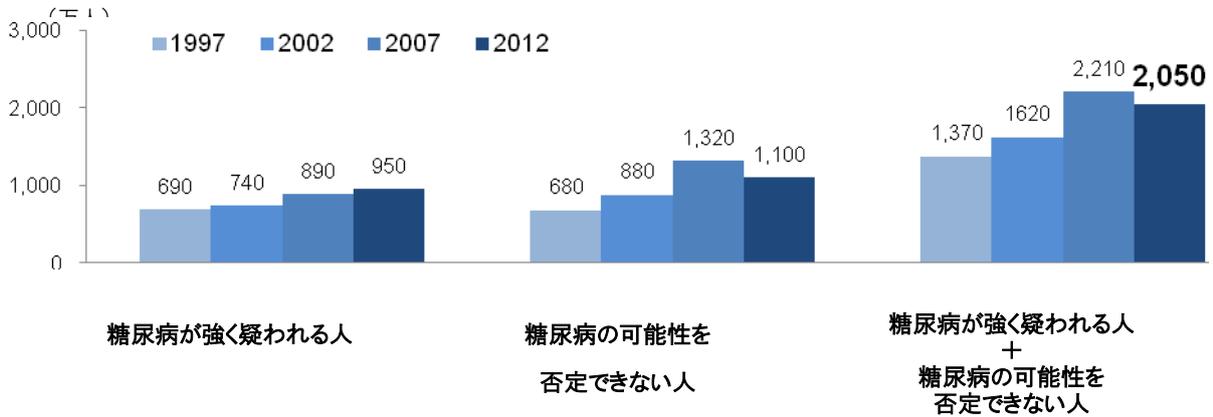
| 順位 | 国       | 2015年患者数 | 順位 | 国       | 2040年患者数 |
|----|---------|----------|----|---------|----------|
| 1  | 中国      | 1億960万人  | 1  | 中国      | 1億5070万人 |
| 2  | インド     | 6920万人   | 2  | インド     | 1億2350万人 |
| 3  | アメリカ    | 2930万人   | 3  | アメリカ    | 3510万人   |
| 4  | ブラジル    | 1430万人   | 4  | ブラジル    | 2320万人   |
| 5  | ロシア連邦   | 1210万人   | 5  | メキシコ    | 2060万人   |
| 6  | メキシコ    | 1150万人   | 6  | インドネシア  | 1620万人   |
| 7  | インドネシア  | 1000万人   | 7  | エジプト    | 1510万人   |
| 8  | エジプト    | 780万人    | 8  | パキスタン   | 1440万人   |
| 9  | 日本      | 720万人    | 9  | バングラデシュ | 1360万人   |
| 10 | バングラデシュ | 710万人    | 10 | ロシア連邦   | 1240万人   |

## 世界の糖尿病人口(2015年/2040年)



## ■日本の糖尿病に関するデータ■

### ◆増える糖尿病患者数

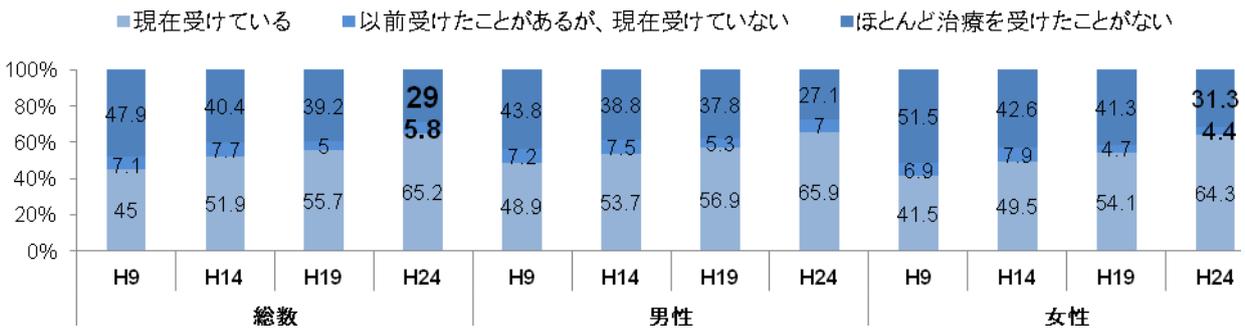


※平成 24 年国民健康・栄養調査

◇ 人口に占める糖尿病患者の割合は男性が 16.2%、女性が 9.2%に上る

(平成 25 年国民健康・栄養調査)

◇ 治療を受けている割合は増加しているものの、34.8%が未治療 (平成 24 年国民健康・栄養調査)

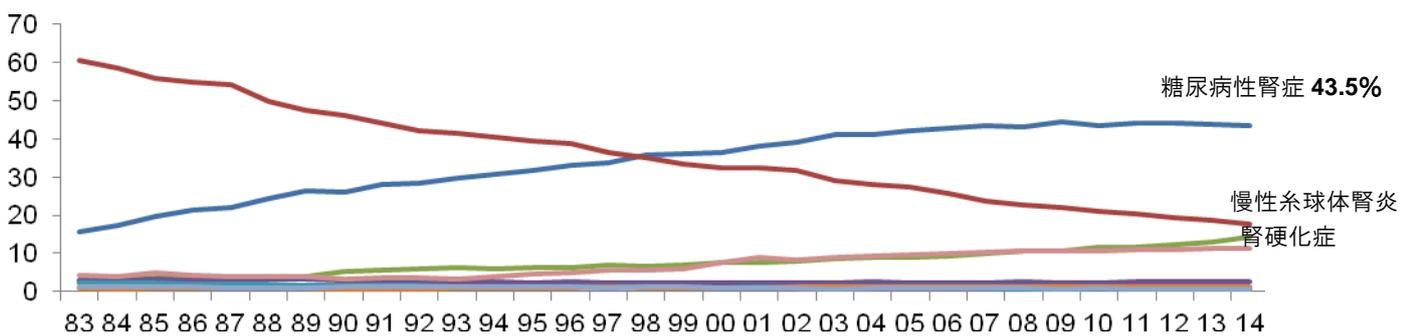


### ◆医療費の増加



※国民医療費の概況を元に作成

◇ 透析を導入する主要原疾患の 1 位が糖尿病性腎症



※日本透析医学会

## ■ 関連ウェブサイト ■

|                    |   |
|--------------------|---|
| IDF                | <a href="http://www.idf.org/">http://www.idf.org/</a>   |
| IDF Diabetes Atlas | <a href="http://www.diabetesatlas.org">http://www.diabetesatlas.org</a>   |
| 世界糖尿病デー実行委員会       | <a href="http://www.wddj.or.jp/">http://www.wddj.or.jp/</a>   |
| 日本糖尿病学会            | <a href="http://www.jds.or.jp/">http://www.jds.or.jp/</a>   |
| 日本糖尿病協会            | <a href="http://www.nittokyo.or.jp/">http://www.nittokyo.or.jp/</a>   |
| 日本歯科医師会            | <a href="http://www.jda.or.jp/">http://www.jda.or.jp/</a>   |
| 日本糖尿病対策推進会議        | <a href="http://www.med.or.jp/tounyoubyou/index.html">http://www.med.or.jp/tounyoubyou/index.html</a>                                 |
| 厚生労働省 国民健康・栄養調査    | <a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html">http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html</a> |

### ★世界糖尿病デー実行委員会とは・・・

2006年の国連決議を受けて、日本国内の糖尿病啓発を促進するために日本糖尿病学会と日本糖尿病協会により設立された任意団体です。世界糖尿病デーに関する国内の啓発活動を統括し、各地のブルーライトアップや地域密着型イベントに補助金を支出するほか、多様なメディアを利用して糖尿病啓発を行っています。

### ★IDF とは・・・

International Diabetes Federation (IDF／国際糖尿病連合)は、170カ国・地域から230以上の糖尿病関連団体が参加する組織で、1950年から世界の糖尿病関連団体をリードし、増加する糖尿病患者とその予備群を支援する活動を展開しています。日本糖尿病学会・日本糖尿病協会もIDFの正会員です。

### ★IDF Diabetes Atlas とは・・・

IDFが発行するDiabetes Atlasは、2000年に初版発行後、2年に一度、IDFと世界の専門家が協力し、糖尿病患者数、発症率、死亡率、世界・地域・国レベルの医療費支出などのデータを収録しています。

\*\*\*\*\*

### ◇国内ブルーライトアップ、イベントに関するお問い合わせ先◇

公益社団法人日本糖尿病協会 事務局

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-2-4 8F

TEL : 03-3514-1721 FAX : 03-3514-1725

E-mail : office@nittokyo.or.jp